

樹木観察のポイント・樹木観察の工夫

8 観察対象木の選定

Point

- ・観察対象として適切か
- ・行き来が容易か
- ・周辺環境がよいか



観察対象とする樹木を選定する際には、「特別支援学校施設整備指針（文部科学省 2022）」が示しているように、「郷土産のものを中心に、四季の変化、生態、生理等を観察できるような樹種を選定すること（P100）」が基本となります。また、教科書に記載されている樹種は観察対象として確保したいものであり、例えば、小学部4年で四季の変化を観察する4つの単元ではサクラが最優先となります。しかし、観察対象として適切な樹種であっても、行き来が困難な場所にあるものや周囲が急斜面ややぶであるものは観察対象として不適當です。必要な場合には、樹木までの経路や周囲の整備を行って環境を整えることを考えます。

参考：文部科学省（2022）特別支援学校施設整備指針